

「山口県各郡物産解説 周防・長門」（県庁戦前A総務1690・1691）

モノ ⑦

「集める競う」～百花繚乱！博覧会～

《明治初期の名物》

「山口県各郡物産解説」には、県内各地の農産品・林産品・水産品・畜産品・醸造品・窯業品・工業品など約300点について、それぞれの産地・製造場・製造法などがまとめられています。明治10年（1877）、県庁国史掛が作成した記録であり、明治初期の県下の「名産品カタログ」とも言えます。作成年から、東京上野で開催された第一回内国勸業博覧会への出品をセレクトするための参考資料であったと推測できます。この記録により、県下における、江戸時代以来の物産を概観できます。今日的ないわゆる「特産品」や「伝統工芸品」の原風景をそこにみることができます。産出量（たくさん）や産額（高い）ではなく、「ほかの場所では見られない（珍しい）」に、セレクトの基準が置かれていたように感じられます。「大量」「高値」などの近代的な価値に左右されることにより均質化される前の、物産を取り巻く状況を読み取ることができます。



▲鉄道旅行案内（大正13年発行）に名物として紹介された舟木櫛（「鉄道旅行案内」山根家文書52）

《博覧会》

博覧会は、各地の物産を一堂に集めてその優劣を競い、製産への向上心を刺激することによって、産業育成を図ることを目的とするものでした。それは、明治国家が掲げていた「富国強兵・殖産興業」政策の達成具合を推し測ることのできるバロメーターでした。しだいに博覧会入場者がもたらす経済効果に注目が集まるようになり、娯楽的要素を前面に押し出したイベントへと変質していきました。

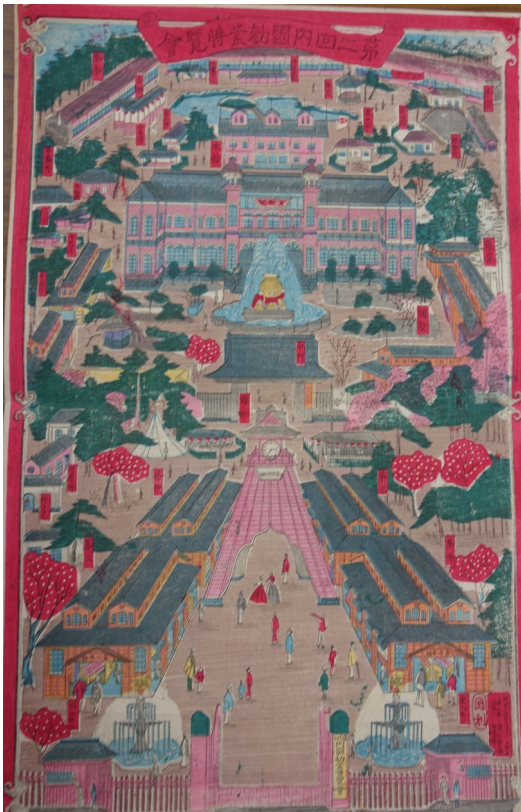


「東京大正博覧会山口県写真帖」（行政資料 1910年代内務部-2）

東京大正博覧会は、大正3年（1914）、上野公園で開催された博覧会です。大正天皇即位を祝い新時代の幕開けを告げる博覧会で、会場にはエスカレーターやケーブルカーも設置されました。山口県のブースには、萩焼・小野田セメント・岩国縮・赤間硯・大内塗・秋吉大理石などが名産品として陳列されました（当館webサイトで写真を紹介しています）。

《館蔵の博覧会関連資料》

博覧会名	開催年	会場	館蔵資料請求番号・備考
ロンドン万国博覧会	嘉永4年 (1851)	ハイドパーク	(世界初の万国博覧会)
第1回内国勸業博覧会	明治10年 (1877)	東京上野公園	物産解説〈戦前A総務1690・1691〉
第2回内国勸業博覧会	明治14年 (1881)	東京上野公園	会場図〈高洲家389〉
第3回内国勸業博覧会	明治23年 (1890)	東京上野公園	ガイド〈大島佐川家1170〉など
シカゴ万国博覧会（閩龍世界博覧会）	明治26年 (1893)	ジャクソン公園	表彰状・受賞メダル〈毛利家文庫絵図1148〉 事務局報告〈梶山家1942〉報告付図〈同前1950〉
第4回内国勸業博覧会	明治28年 (1895)	京都岡崎公園	山口県受賞人名録〈上村家643〉開設案内〈平生佐川家4188〉褒状〈大島佐川家643〉優待券〈梶山家731〉
第2回水産博覧会	明治30年 (1897)	神戸市ほか	委員任命辞令〈劔持家294〉
パリ万国博覧会	明治33年 (1900)	トロカデロ公園ほか	日本建築図〈毛利家文庫81写真112〉
第5回内国勸業博覧会	明治36年 (1903)	大阪天王寺	会場図〈津田家642、防府原田家1138、平生佐川家414〉全景図〈平生佐川家3701〉会場内明細図〈平生佐川家3702〉絵はがき〈雨村家342〉委員任命辞令〈劔持家314〉山口県受賞便覧〈平生佐川家3700、3409／大島佐川家415〉など
東京勸業博覧会	明治40年 (1907)	上野公園ほか	絵はがき〈佐伯隆249〉
日英博覧会	明治43年 (1910)	ロンドン	会場図〈毛利家文庫58絵図1149〉
東京大正博覧会	大正3年 (1914)	上野公園ほか	山口県写真帳〈行政資料10内務部2〉ガイド〈大島佐川家553〉絵はがき〈内藤家文書・和漢141-18~20〉など
始政五年記念朝鮮物産共進会	大正4年 (1915)	景福宮・仁川水族館	記念写真〈大島佐川家写真7〉
奠都五十年奉祝博覧会	大正6年 (1917)	上野公園	絵はがき〈清川家156、157〉
平和記念東京博覧会	大正11年 (1922)	上野公園	絵はがき〈雨村家1523、1564〉など
東亜勸業博覧会	昭和2年 (1927)	福岡（西公園ほか）	ガイド〈武永932〉
大正記念国産振興東京博覧会	昭和3年 (1928)	上野公園	絵はがき〈雨村家245〉
中外産業博覧会	昭和3年 (1928)	別府公園浜脇海岸	ガイド〈大島佐川家1193〉など
昭和産業博覧会	昭和4年 (1929)	広島市	絵はがき〈雨村家347〉
市制3周年記念萩史蹟産業大博覧会	昭和10年 (1935)	萩市	絵はがき〈雨村家282〉ガイド〈一般郷土B376〉
興亜建設博覧会	昭和15年 (1940)	山口市	(防長新聞記事)
関門トンネル建設記念大政翼賛興亜聖業博覧会	昭和16年 (1941)	下関市彦島埋立地	(関門日日新聞記事)
石炭博覧会	昭和23年 (1948)	宇部市	宇部石炭局主催
関門トンネル開通市制70周年記念下関大博覧会	昭和33年 (1958)	下関市長府	
日本万国博覧会	昭和45年 (1970)	大阪府千里丘陵	
21世紀未来博覧会（山口きらら博）	平成13年 (2001)	山口阿知須干拓地	
第35回全国都市緑化やまぐちフェア（山口ゆめ花博）	平成30年 (2018)	きらら博記念公園	



◀ 第二回内国勸業博覧会場図（高洲家文書389）
煉瓦造の展示館（のちに上野博物館本館に転用）前には噴水も設けられた。

《「出品」「陳列」「受賞」》

博覧会や共進会への出品、行幸啓に際する展覧や台覧。「受賞」や「お買い上げ」によって、陳列された物産や発明品は高い名声を得ることになりました。防長米や柏木検温器はその代表例です（以下に柏木検温器〈水銀体温計〉の受賞歴を掲げておきます）。受賞を繰り返して名声を博することは、発明品については、さらなる工夫や、技術的な改良をもたらしました。一方で、物産に関しては、伝統や由緒が強調されることになりました。

■ 柏木検温器の受賞歴

- 明治23年「第三回内国勸業博覧会」（有効三等賞牌）
- 明治28年「第四回内国勸業博覧会」（有効二等賞牌）
- 明治36年「第五回内国勸業博覧会」（二等賞牌）
- 明治43年「関西府県聯合共進会」（一等金牌）
- 明治43年「名古屋開府記念共進会」（有効金牌）
- 明治44年「ドイツ万国衛生博覧会」（紀念章牌）
- 大正元年「中国六県製品共進会」（一等賞金牌）
- 大正3年「東京大正博覧会」（金牌）